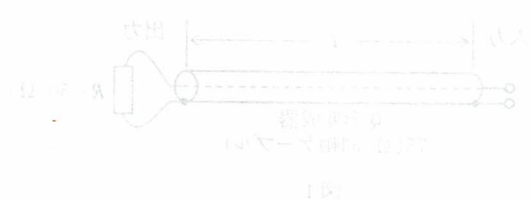
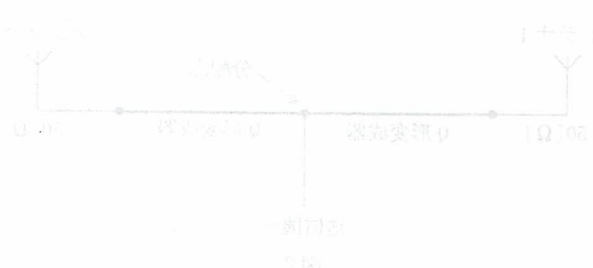
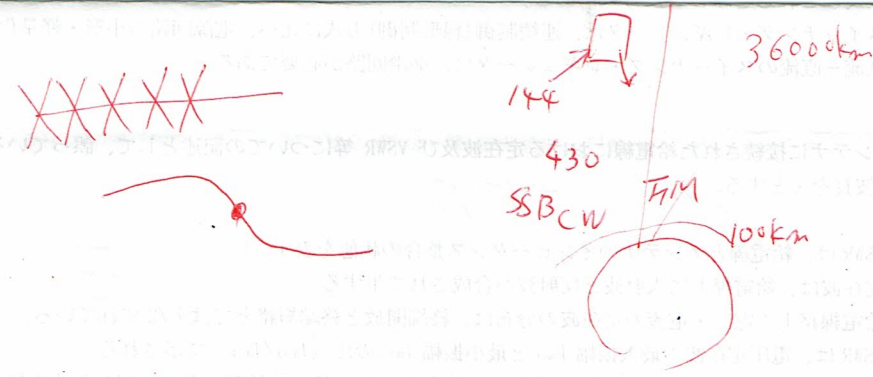


- ① 衛星からの電波がフェージングを伴うことがあるのは、大地・建造物反射の影響や偏波面の変化等が原因である。
- ② 通信に使用できる電波型式は、衛星により異なるが、F3E(FM)、J3E(SSB)、A1A(電信)、F1B(データ)などがある。
- ③ アップリンクは、超短波(VHF)帯又は極超短波(UHF)帯の周波数が用いられることが多い。
- ④ 衛星が電波を中継(ダウンリンク)する際、中継装置に逆ヘテロダインと呼ばれる方式を用いると、ドブラ効果による周波数の変動が小さくなる場合がある。
- ⑤ アマチュア衛星通信で使用されるアンテナの偏波面は、垂直偏波のみである。**ドップラー効果**



| | A | B | C |
|----|------|-------|-----|
| 電圧 | 0.05 | 0.101 | 0.1 |
| 電流 | 0.05 | 0.101 | 0.1 |
| 電圧 | 0.05 | 0.101 | 0.1 |
| 電流 | 0.05 | 0.101 | 0.1 |